

ゆかた

「まーちゃん、じつとしてっ」

お母さんがほおをぷくうとして

ひたいにあせをうかばせて

帯を巻いている

あたらしいゆかたでごきげんな私は

ふと思った

こうやって服をきせてもらうのは

いつぶりだろう

きつとようちえんぐらいの頃：

ボタンをとめるのに何分もかかった頃：

なんとなく心地がよかった

小さい自分に戻れた気がして：

「ん できた」

若竹色のコスモス柄のゆかたに包まれやけに

華やいでいる自分と

いかにも嬉しそうなお母さんが

鏡にうつつていた